

第2回 総会開催

課題解決に前進



萩生田先生挨拶
(代理 牛久保秘書官)

だき、続いて業界を管轄する経済産業省からはサード産業室長の山口徳彦様より「業界発展のため支援していきます」との力強いお言葉をいただきました。

2022年11月25日、一般社団法人日本コインランドリー連合会の第2回総会が35社68名の参加で開催されました。冒頭、宮澤理事長の挨拶に続き、最高顧問の萩生田光一先生のご挨拶(牛久保秘書官代読)では「党や議員の立場からサポートさせていただきたい」とのお言葉をいただきました。

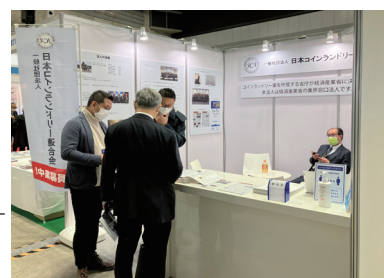
米田常任顧問の強力な支援もあり、いよいよ本格的に始動したことを実感できました。総会では活動報告等につき、前年度会計報告、監査報告、定款の一部変更、新役員の承認、分科会の発足、今年度の事業計画及び会計予算の議案が審議され、全て賛成多数で承認されました。



定款の一部変更は、議決権を持つ社員に特別賛助会員を加え、業界に力のある各メーカー、輸入代理店により積極的に分科会の立ち上げは、より多くの会員が参加して課題解決を行うことを目的として立ち上げることであります。

第7回 国際コインランドリー-EXPO 2022

12月8日(9)にパシフィコ横浜で開催された「国際コインランドリー-EXPO」に日本コインランドリー連合会が協力法人として出展しました。初日のセミナーには、「コインランドリーの現状、その課題と解決策」と題して、宮澤



理事長が講演。70名の定員のところ、90名以上の参加で立ち見が出る盛況となりました。

コインランドリー店アワードでは、都丸理事が審査員とプレゼンターを務め、協力法人としてアワード

を盛り上げました。本法人ブースは1小間でしたが多くの方に足を運んでいただき、75社と名刺を交換。会場での入会3社、入会検討8社の成果となりました。

主催のジェイシーレゾナンスによると、来年も12月にパシフィコ横浜で開催の予定との事です。で、本法人も継続出展を検討いたします。

2022年 (パシフィコ横浜)

日付	登録来場者数
12月8日(木)	1,485名
12月9日(金)	992名
合計	2,477名

2021年 (インテックス大阪)

日付	登録来場者数
9月15日(水)	875名
9月16日(木)	702名
合計	1,577名



宮澤理事長によるセミナー

萩生田光一先生

本法人の最高顧問に就任

総会でもご案内した様に、自由民主党政務調査会長の萩生田光一先生が本法人の最高顧問をお引き受けいただきました。これに伴い、米田建三先生は常任顧問となり、鴨下一郎先生と鈴木康裕先生はご希望によりご退任となりました。両顧問の行動力、発言力をお借りし、ますます活動を活発にしていきたいと思います。



萩生田最高顧問

クリーンビジネス協会 法人の合流実現せず

かわら版第2号に掲載したクリーンビジネス協会との合流は、両法人の役員で大筋の合意をしておりましたが、クリーンビジネス協会の代表である山崎美香氏が自身の経営する株式会社アピッシュの破産(9月12日)に伴い、クリーンビジネス協会も解散したため、実現しませんでした。今後とも類似法人との合流は法人強化のため、進めてまいります。

厚生労働省

コインランドリーの指導要綱を改訂予定

昭和58年に制定された「コインオペレーションクリーニング営業施設の衛生措置等指導要綱」について、厚生労働省が年内に改訂する予定です。改訂部分は要綱の第四管理の一、衛生管理責任者の専任の部分で、以下の変更となります。(赤字部分)

(一) 衛生管理責任者は、当該施設に常駐し、又は近隣に所在し、必要があれば、直ちに当該施設及び設備の管理の業務を行うことができる者であること。ただし、デジタル技術等を活用し、必要があれば、直ちに当該施設及び設備の管理の業務を行うことができる場合は、この限りでない。

背景はデジタル庁の河野大臣より、「デジタル原則」に適合した制度への見直しの検討が求められ、コインランドリーの衛生管理責任者が、必ずしも常駐して業務を行っていない実態があることを踏まえ、衛生措置等指導要綱を改正し、「働き方の幅を拡大させたい」とのことです。今後詳細が入りましたらご報告いたします。